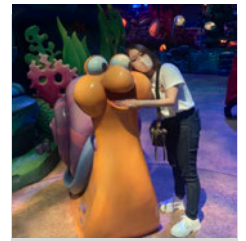
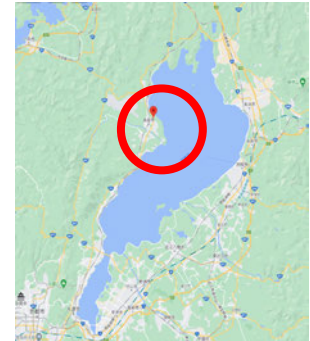


# 水鏡の集落と人々の灯り



小肥優花  
建築設計計画 | 研究室

計画地：滋賀県高島市新旭町 針江集落



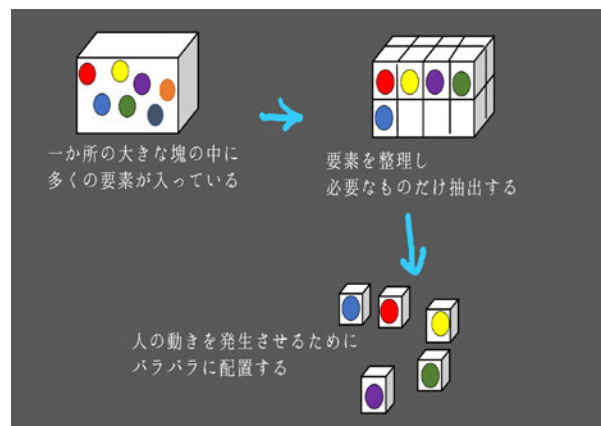
## □コンセプト

計画地の針江集落は滋賀県高島市新旭町に位置する。この集落の人々は比良山系からの豊かな湧水を用いて暮らしている。「川端（かばた）」とよばれるシステムは集落内に張り巡らされた鯉の住む清らかな小川が各家の敷地内まで引き込まれている仕組みだ。野菜を冷やしたり鯉が皿の汚れを食べてきれいにしてくれる。このエリアに魅力を最大限引き出し、住む人々に新たな魅力を再発見してもらうことを目的とし計画した。



## □プログラム

集落の中心に大きなボリュームで存在する集会場を要素ごとに分け分棟化することから計画を進めた。現在あまり使われていない要素を省き、新たな要素を加え、集会所としての役割から一歩進んだ、人々のコミュニケーションの中心となる場を目指した。集落内の人の動きを活性化させることを目的とし、集落中心部の広い敷地を集落の心臓のようなポンプと見立て、人の動きをシュミレーションした。滞りなく流れる人の流れを意識した。



集落の中心にあった公民館を分棟にし、集落の真ん中を長い距離にわたって流れる川沿いに点在させる。



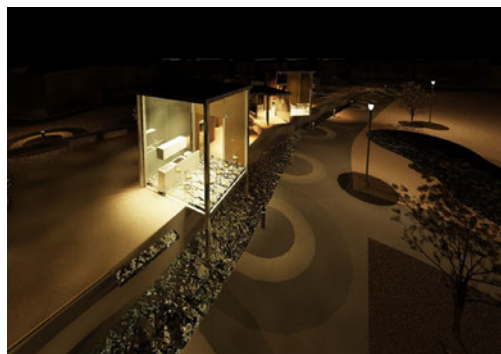
あまり使われていない公民館の要素に、新しい要素をプラスすることで自ら歩き回る人が増え、心臓のように人の動きのポンプの役割を担う。



全体配置図 1/1500

## □デザイン

計画敷地内に新たにカフェやマルシェ、広場、資料館、宿泊施設などを設け人々のコミュニケーションの中心となるよう意識した。水の流れへの太陽の光の写りこみ方が印象的だったことから、建物の外観は灯籠流しから着想を得た。計画敷地一帯が川のように連続し、人々が集うことで灯る灯りが灯籠流しのようにゆっくりと流動してゆく様をイメージした。この計画が周辺に住む人々、そして外部から訪れた人々の憩いの場となれば良いと思う。



南立面図 1/1000



西立面図 1/1000

